

拠点区分 (福) 黒松内つくし園法人本部

サービス区分 : 法人本部 奨学資金事業

1 事業方針

社会福祉法改正により、ガバナンス強化や事業運営の透明性向上、財務規律の強化、地域での公益的取組の充実などが求められています。当法人では、制度に対応した組織作りと内部統制・本部機能強化に向けて取り組んでまいりました。

本年度は、中長期的ビジョンを法人全体でさらに共有して運営を行ってまいります。また、さらなる法人事業再編と経営の健全化へ向けて、施設整備や事業運営体制の検討をさらに進めてまいります。そして、地域福祉の向上のために、社会福祉法人としての役割と使命を果たすため、役職員一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

2 今年度の重点目標（抜粋）

- 1、利用者主体の自立支援に向けた良質なサービスを提供する。
- 2、良質なサービス計画を提供し、施設サービス・利用者満足度の向上を図る。
- 3、中長期ビジョンに基づいた中期事業計画を策定し、法人の事業方針を各事業所・役職員が共有して一丸となった事業運営を行っていく。
- 4、さらなる事業再編を検討し、経営健全化に向けた方針の検討・実施を行う。旧緑ヶ丘ハイツ建物の解体と土地活用方法について、地域・行政との協議を行いながら方針の決定を行う。
- 5、人材の確保・定着・育成のための取り組みを継続し、働きやすい職場環境の提供と職員への待遇改善に向けた取り組みを行う。
- 6、法人一体運営へ向けて内部統制・本部機能強化・集中化、ICT化への取組をさらに進める。
- 7、2023年春の泊村老人ホームむつみ荘指定管理更新について、自治体と協議を進め法人内で様々な検討を重ねながら方針を決定する。
- 8、D&Iの推進とSDGsへの取り組みを明確にし、発信力を高める。
- 9、地域福祉を積極的に推進し、社会貢献事業の取り組みを積極的に行う。利用者主体の自立支援に向けた良質なサービスを提供する。

3 予算

収入	[単位：千円]
科 目	予算額
経常経費寄付金収入	1,300
受取利息配当金収入	3,001
雑収入	18,410
施設整備等寄付金収入	4,500
設備資金借入金収入	0
積立資産取崩収入	1,480
事業区分間繰入金収入	0
拠点区分間長期貸付金回収収入	0
拠点区分間繰入金収入	55,692
収入合計 (A)	84,383

【予算積算根拠、主な施設整備等】

※収入 資金運用受取利息分1,500千円
職員住宅家賃他雑収入18,440千円
費用 昨年度実績・見込にて算出。
主な施設整備等 法人各施設計画分に積立金使用

支出	[単位：千円]
科 目	予算額
人件費支出	2,130
事業費支出	9,880
事務費支出	28,682
支払利息支出	1,470
設備資金借入金元金償還支出	4,700
固定資産取得支出	0
長期運営資金借入金元金償還支出	4,530
積立資産支出	1,482
拠点区分間繰入金支出	47,200
支出合計 (B)	100,074

予備費 (C)	0
当期資金収支差額 ① = (A) - (B) - (C)	△ 15,691
前期末支払資金残高②	16,226
当期末支払資金残高①+②	535

4 職員数 【職員数】正職員8名（兼務）臨時職員4名（兼務）

5 その他 施設運転資金不足時には施設に短期貸付実施
倶知安地区、湯の里・黒松内、緑ヶ丘ハイツ他へ運転資金貸付予定

拠点区分 児童養護施設 黒松内つくし園

事業名：黒松内つくし園（70名）・地域小規模児童養護施設ホームすぎな（6名）・短期入所生活援助事業

1 基本方針

児童を取り巻く環境は日々変化し、その煽りは核家族化が進み出生率も低下し続け児童数が減っている状況であっても虐待相談件数は増加し続け、令和2年度数値において全国数値は20万件を超え、北海道では前年度（令和元年度）数値を下回ったものの6万件を超え増加の一途を辿っている。そのような状況下の基、令和2年3月に「社会的養育推進計画」が策定された。当園においてもその流れを組して、令和3年度に昭和46年から50年間変更する事のなかつた定員数を80名から75名とした。令和4年度においても、2年連続での定員変更となるが75名から70名とし、小規模化に向けて委員会を設置し着実に準備を進めていく。同時に安定経営に向けた入所人員の確保に努めるとともに、関係機関との連携や実習生への積極的なアプローチ、各学校へボランティア参加の案内をする等で職員確保に努め、永年勤続できる職場づくりや人材育成の為に組織体制の見直しを図っていく。児童の支援としては、継続して権利擁護の権利侵害が起きない様、園内研修の内容を強化し、苦情解決・意見箱・子ども会アンケート等を通して支援の向上に努め、全職員が同じ意識で取り組んでいくとともに、毎月の振り返りを継続し、感染症対策に万全を期して安全・安心な生活を支援する。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

1. 小規模化・地域分散化・高機能化に向けた取り組みの実施
（入所児童確保、児相・関係機関との連携強化、委員会設置など）
2. 権利擁護・虐待防止に向けた取り組みの継続と支援内容の見直し
（園内外研修、意見箱・アンケート実施、行事の見直し、レク活動の充実など）
3. 組織体制の見直し、人材確保に向けた取り組みを実施する
（施設長交代のに向けた取り組み、園内研修会の充実、各種会議の見直し、ボランティアの案内など）
4. 働き方改革への対応（勤務体制の見直し、業務改善、行事の見直しなど）
5. 安全・安心な生活への対応
（意見箱・子ども会アンケート等を通しての権利擁護の推奨、感染予防対策、自然災害対策、防犯カメラの設置）
6. 地域貢献活動の充実（合同行事、健康診断、往診、園内研修等）
（奨学金制度の継続、実習生や職場体験の積極的な受け入れ、町行事への積極的な協力など）

3 予算

収入

【単位：千円】

科目	予算額
児童福祉事業収入	314,972
経常経費寄付金収入	1,000
受取利息配当金収入	1
その他の収入	1,401
施設整備等補助金収入	3,312
積立資産取崩収入	0
拠点区分繰入金収入	1,001
収入合計 (1)	321,687

支出

【単位：千円】

科目	予算額
人件費	185,810
事業費	91,114
事務費	16,700
支払利息支出	748
その他の支出	900
設備資金借入金元金償還支出	6,122
固定資産取得支出	2,300
ファイナンス・リース債務	1,362
積立資産支出	4,900
拠点区分間繰入金支出	10,000
支出合計 (2)	319,956

【予算積算根拠・主な施設整備等】

1. 事業費は令和3年度の最終単価で積算
2. 本園は定員70名／職員配置区分4.0:1
民改費加算 本園19%（11年）／小規模18%（10年）
小規模Gケア加算、心理士加算、看護師加算
小規模化及び地域分散化加算、処遇特別加算など

予備費 (3)	1,000
当期資金収支差額	731
① = (1) - (2) - (3)	
前期末支払資金残高 ②	80,425
当期末支払資金残高 ①+②	81,156

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員本園70名+小規模6名（平均利用者数67.7名/月+6名/月）

【職員数】正職員28名【育休1名含む】（年俸3名+賞与3ヵ月24名+55歳超1名）／日給・パート15名／嘱託医1名

5 その他特記事項

正面玄関・交流SP玄関防犯カメラ設置、厨房設備整備、新館2階ろ過器薬注ポンプ取替、男子棟5室電化製品（TV・DVDデッキ・冷蔵庫・洗濯機）、女子棟旧館居室用パネルヒーター取替（検討）
旧館1階・2階便器取替、床張り替え工事（補助金申請予定）

拠点区分 養護老人ホーム 緑ヶ丘老人ホーム

サービス区分事業所

- (1) 養護老人ホーム 緑ヶ丘老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業所・短期入所生活介護事業所含む）
 (2) 地域密着型通所介護事業 黒松内町ディサービスセンター
 (3) 居宅介護支援事業 黒松内つくし園居宅介護支援事業所
 (4) 訪問介護事業 黒松内つくし園ホームヘルパーステーション

1 基本方針

形態を外部利用型特定施設から一般型特定施設へ変更し一年を経過致しました。施設全体の長所や機能を最大限に生かした運営を進めるべく、職員は一致団結し歩んで参ります。又、地域に根差し魅力ある施設風土を目標に邁進し、利用者及び人材確保、経費等の削減を進め、安心安全を第一前提にその中からやりがい等を追求しサービス向上に努めます。調理部門については、日清医療食品の外部委託に切り替わる為、利用者の方々が満足頂けるよう業者とも連携を密にし安定提供に努めます。

一方、拠点内の在宅福祉部門の通所事業、訪問事業、居宅支援事業所においては、地域からの一層の信用と信頼を得て黒松内町はもとより管内の高齢者福祉の中心的な役割を担えるよう日々研鑽に努めます。又、高齢者の方々が安心して住み慣れた自宅で継続して生活できる支援を目指し、ご家族も安心して任せられる事業所として一役を担う事を目指します。

2 今年度の重点目標

- (1) 一般型特定施設の継続向上できる運営に努める
 (2) 調理部門の外部委託による食事の安定供給に努める
 (3) 職員の円滑なコミュニケーション、より良い職場環境への改善を図り、絆を大切に施設形成に努める
 (4) 職員1人ひとりが、組織の活性化と経営に対する意識を持ち、組織機能の評価、運営、コスト等を見直し、改善に努める
 (5) 各事業所において健全な経営と効率的な施設整備及び修繕に取り組む
 (6) 地域貢献を目的とした事業を継続して社会との関わりを重視に努める
 (7) 法人内（養護、特養、老健）の高齢者施設連携に向けた効率的な運営の実施に努める

3 予算

収入		[単位：千円]	支出		[単位：千円]
科 目	予算額		科 目	予算額	
介護保険事業収入	113,981		人件費	162,607	
措置事業収入	153,723		事業費	65,293	
その他の事業収入	1,400		事務費	38,346	
経常経費寄附金収入	300		その他の支出	120	
受取利息配当金収入	13		設備資金借入金元金償還支出	550	
その他の収入	272		ファイナンス・リース債務の返済支出	794	
拠点区分間繰入金収入	5,000		積立資産支出	3,370	
			拠点区分間繰入金支出	3,000	
収入合計 (A)	274,689		支出合計 (B)	274,080	
			予備費 (C)	0	
			当期資金収支差額 ① = (A) - (B) - (C)	609	
			前期末支払資金残高②	31,077	
			当期末支払資金残高①+②	31,686	

【予算積算根拠】

- 措置費：民改費管理加算Aランク16%
事務費80名/事業費77名で算出

【主な施設整備】

- 特記事項なし

4 利用者及び職員数

	利用者数		職員数 ()内は兼務		
	定員	実員	正職員	臨時	パート
緑ヶ丘老人ホーム	80	80	21	9	6
黒松内町ディサービスセンター	18	—	4 (1)	1	1
黒松内つくし園居宅介護支援事業所	—	—	1	—	1
黒松内つくし園ホームヘルパーステーション	—	14	1	(1)	1
計			27 (1)	10 (1)	9

拠点区分 福祉型障害児入所施設 しりべし学園

事業名：入所（30名）・短期入所（2名）・南後志児童デイサービスセンター（10名）

1 基本方針（事業所の全体的な方向性）

しりべし学園

入所29名でのスタートとなる。児童の障がい特性や成育歴を把握し、それぞれの心情を理解し心に寄り添い、権利を守ることを大切に支援を行います。また、社会に出る中で必要となるスキル、ルール、マナーの習得を目指し、各学校とも連携して卒業後に自分に合った進路を見出せるよう支援を継続していきます。職員同士もお互いを理解し認め合い、活かし合うことを心がけ、それぞれの役割を明確にし、良いチームワークの中で、質の高い支援に努めます。さらに、引き続き感染症対策を徹底し、感染者が出ないように安心安全な生活支援を実践するとともに、その中でもできることに目を向け工夫し、可能な限り児童の声に耳を傾け余暇の充実を図ります。

南後志児童デイサービスセンター

37名でのスタートとなる。各町村において利用にされた方が多い潜在したケースがいるため、出来る限り新規利用者を受け入れ、個別療育を中心に小集団療育を組み合わせ、様々な場面でのスキルアップやコミュニケーション能力の向上が図れるよう取り組みを行うとともに、関係機関との連携を図っていきます。また、新センター建設については、再度法人本部、三町村とも検討、連携を行い方向性を決め早期の建設を目指します。しりべし学園同様、感染症対策を徹底し、感染者が出ないように安心安全な療育を実践します。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

しりべし学園

- ①安定経営に向けた取り組みを実施する(入所児童確保、節約意識の徹底、児相・関係機関との連携強化)
- ②人材確保に向けた取り組みを実施する(組織体制の確立、多様な働き方、働きやすい環境整備)
- ③権利擁護・虐待防止に向けた取り組みを継続する(園内外研修、利用者・保護者へのアンケート実施)
- ④職員の資質向上・育成に向けた取り組みを実施する(支援職員会議の充実、スーパービジョン会議の創設)
- ⑤居室担当職員、フリー職員、役職員、事務職員間での協働体制の強化と役割の明確化(各種窓口業務、書類管理)
- ⑥成人寮との連携強化(合同行事、健康診断、往診、園内研修等)
- ⑦新型コロナウイルス感染症予防の徹底と新生活様式に準じた余暇活動の充実を図る。

南後志児童デイサービスセンター

- ①関係機関との連携を強化し、情報や課題を共有し、児童の健全な育成に取り組む。
- ②職員の資質向上、虐待防止に対する意識向上のため、各種研修会へ積極的に参加する。
- ③児童や療育について、保護者との共通認識を持ち、保護者との相談機会の充実・研修会等を実施する。
- ④市町村発達支援センター事業の機能の充実を図り、地域の児童の発達支援に取り組む。
- ⑤新センターの建設に向け法人本部、三町村と連携を行い早期の完了を目指す。
- ⑥新型コロナウイルス感染症予防の徹底と新生活様式に準じた行事を実施する。

※各事業所共通で必要な設備・環境整備を実施していく。

3 予算

収入

【単位：千円】

科目	予算額
児童福祉事業収入	96,816
障害福祉サービス等事業収入	55,903
その他の事業収入	20
借入金利息補助金収入	0
経常経費寄付金収入	40
受取利息配当金収入	13
その他の収入	135
施設整備等収入	0
積立資産取崩収入	500
拠点区分間繰入金収入	0
収入合計 (1)	153,427

支出

【単位：千円】

科目	予算額
人件費	74,972
事業費	37,234
事務費	19,506
支払利息支出	0
その他の支出	40
施設整備等支出	1,562
積立資産支出	1,400
拠点区分間繰入金支出	5,000
支出合計 (2)	139,714

【予算積算根拠・主な施設整備等】

措置入所 20名

契約入所 8名・経過 1名 で積算

処遇改善加算率：6.2%

特定処遇改善加算率：5.5%

予備費 (3)	3,000
当期資金収支差額	10,713
① = (1) - (2) - (3)	
前期末支払資金残高 ②	62,868
当期末支払資金残高 ①+②	73,581

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員30名

【職員数】正職員 14名／臨時職員1名・パート職員 1名

5 その他特記事項

職員の人数不足により、職業指導員を配置できない為職業指導員加算を算定していません。
また同様にソーシャルワーカーも配置できない為ソーシャルワーカー加算の算定をしていません。

拠点区分 障害者支援施設 しりべし学園成人寮

事業名：生活介護（70名）・施設入所支援（70名）・短期入所（2名）・セオス（30名）・いずみ（25名）・特定相談支援事業所

1 基本方針

しりべし学園成人寮

入所66名、生活介護63名でのスタートとなる。昨年度男子等職員による不適切な支援があり、当該研修会への職員全員参加を継続し、利用者の権利擁護・虐待の根絶には一層力を入れて取り組む。徐々に高齢化してく中で健康管理、健診の重要性に鑑み、障害のある方々への健診体制の拡充と職員の介護技術の習得を目指していく。また、歯科医及び歯科衛生士と連携して、利用者の適切な口腔ケアに努める。人材確保については人材センターと協力した日本人職員の確保を基調に、外国人の受け入れも行っていき、早期に夜勤帯の業務を熟せるようサポートしていく。コロナ禍による活動については、感染対策を施す等、万全の態勢で工夫しながら、日中活動の更なる充実を目指し、利用者さんに喜んでもらえる活動に取り組む。今年度も感染対策を徹底し感染者を出さないよう万全を期す。

しりべしワークセンターセオス

27名でのスタートとなる。利用者の高齢化により、作業効率の低下が見られるため、作業内容の細分化、分業化を進め、利用者の状況に応じた作業の提供を図り、利用者の体力、モチベーションの維持に努め、商品の質の向上から新規顧客の開拓に繋げた。また、若い世代の新規利用のため、関係機関や養護学校等と情報を共有していく。町民から好評を得ている花の無料配布はふれあい祭りを考えているが、コロナの状況により流動的に対応する。昨年度に引き続き、コロナ感染対策と健康管理を徹底し持続可能な事業所運営をしていく。

いずみホーム

23名でのスタートとなる。成人寮入所支援からの移行は数年来ない状態であり、外部からの入所も見込めていない。利用者の高齢化が著しく、健康管理の重要性が高まっている中、高齢利用者が暮らしやすい環境整備を進めていく。また、他の福祉サービスの利用等、利用者の意向に沿った次のステップや今後のグループホームの在り方等、継続的に協議していく。自治会活動についても、体力や能力に応じた活動を行っていく。

黒松内つくし園特定相談支援事業所

基本的にしりべし学園成人寮及び後志リハビリセンター利用者の計画相談を実施していく。年2回のモニタリングを確実に実施し、利用者の意向を反映したサービス等利用計画書作成に努める。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

しりべし学園成人寮

1. 利用者にゆとりとメリハリのある生活を目指し、日中活動の充実を図る。
2. 利用者の高齢化に併せ、定期的な介護技術の勉強会を開催し、職員の知識・技術を向上させる。
3. 人材確保に向けた取り組みを継続する。
4. 虐待防止の意識向上、権利擁護の観点から各種研修会に積極的に参加する。
5. しりべし学園との連携強化（行事・人事交流）
6. 新型コロナウイルス感染予防の徹底と感染対策の充実。

しりべしワークセンターセオス

1. 利用者の高齢化に対して、個々の体力、能力を維持していけるよう作業内容を考慮し、一人ひとりのニーズに合った支援を行う。
2. 顧客の新規開拓と質の良い商品をお届けするため、職員、利用者の技術の向上に努める。
3. 新規利用者獲得のための各関係機関との連携を深めるとともに、セオス内の体制を整備していく。
4. 新型コロナウイルス感染予防とともに、利用者の健康管理を徹底していく。

いずみホーム

1. 健康診断の受診、通院支援、セオスと連携した個々の状態の把握等、健康管理に努める。
2. 手すりや介助具の設置等、高齢利用者への支援と暮らしやすい環境を提供する。
3. 高齢利用者の今後の利用も含めた福祉サービスの検討を行うとともに、他の福祉サービスの利用検討及び各関係機関との連絡調整を行う。
4. 自治会活動の充実と利用者の能力、体力に応じた活動の検討と実施。

黒松内つくし園特定相談支援事業所

1. 年2回のモニタリング実施。
2. サービス等利用計画書作成のためのアセスメントを実施し、適切な計画書の作成に努める。
3. 職員の質の向上を目指し研修等に参加する。

3 予算

収入	【単位：千円】
科目	予算額
就労支援事業収入	15,390
障害福祉サービス事業収入	312,117
経常経費寄附金収入	100
受取利息配当金収入	215
その他の収入	2,800
施設整備等補助金収入	6,360
積立資産取崩収入	1,000
拠点区分間繰入金収入	
収入合計 (1)	337,982

【予算積算根拠】

生活介護・施設入所 稼働率90%で積算

セオス・いずみ 稼働率90%で積算

相談支援延べ246名で積算

成人寮加算) 福祉専門職Ⅲ 常勤看護Ⅰ

重度障害者支援Ⅱ 栄養マネジメント

口腔衛生加算

食事提供体制(短期・通所)

栄養士配置(短期)

セオス加算) 福祉専門職Ⅲ 欠席時対応

いずみ加算) 福祉専門職Ⅲ 夜間支援体制Ⅲ

【主な施設整備等】

成人寮

男女スタッフルームエアコン(2台)/ふらっと和室のフローリング化/女子棟ホール床張替/濾過器(2台)

居住系統・事務所棟のパーテーション設置(感染対策)/男子トイレ便座入替5ヶ所/男子棟浴室タイル補修

身障トイレドア交換/男子棟乾燥室ドア交換/女子棟浴室脱衣所床補修/女子棟洗濯室ドア交換/食事食器入替

セオス

ほのぼの使用権(3件)/園芸課屋根補修/印刷課ストーブ入替/園芸課ストーブ入替/ビニールハウス

いずみ

各ホームリビングエアコン(5台) ※その他、各事業所共通に必要な設備・環境整備を行っていく

4 利用者及び職員数

【利用者数】

成人寮：施設入所支援66名 生活介護63名 短期入所2名 セオス27名 いずみホーム23名

【職員数】

正職員(拠点) 21名 臨時・パート職員(拠点) 28名

5 その他特記事項

成人寮の床暖房配管の老朽化、経年劣化により温水循環機能の低下があり、配管内清掃を実施したが効果が現れていないため、床暖房を停止して全室エアコン暖房への切り替えを検討し、費用の折り合いがつけば男子棟から実施したい

支出	【単位：千円】
科目	予算額
人件費	166,863
事業費	73,579
事務費	41,562
就労支援事業支出	15,390
支払利息支出	36
その他の支出	1,330
設備資金借入金元金償還支出	9,390
固定資産取得支出	2,002
ファイナンスリース債務返済支出	1,212
積立資産支出	3,500
拠点区分間繰入金支出	15,644
その他の活動による支出	
支出合計 (2)	330,508

予備費 (3)	0
当期資金収支差額	7,474
① = (1) - (2) - (3)	
前期末支払資金残高 ②	154,736
当期末支払資金残高 ① + ②	162,210

拠点区分 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘ハイツ

事業名 緑ヶ丘ハイツ 緑ヶ丘ハイツ短期入所生活介護事業所 緑ヶ丘ハイツ診療所

1 事業方針 《 明るく・元気に・やる気ある組織を目指す 》

入所利用者の稼働率の増加を実現する、人材確保に努めることを念頭に運営を進めています。しかし移転後から2年経過する中で改善に向けての上昇気流が発生していない横ばいの現実があります。一番の問題として、人材不足にあり確保については全く望めません。この状況を打破するために早急に運営スタイルの大きな変更等を立案し実行に移す大切な1年になります。

その中でも、各職員は一致団結し安心安全を追求し、やりがい求め一つひとつ前進し、職員確保、利用者確保、コスト管理の徹底を心掛け、運営理念に基づいた事業の執行に努めます。

1. 利用者様、ご家族様が満足いただけるサービスの提供に努めます。
2. 人材の確保に最大の力を注ぐと共に職員1人ひとりの育成に努めます。
3. 職員同士の繋がりのある活力溢れる職場づくりに努めます。
4. 地域に根差し、社会に貢献できる施設として努めます。

2 今年度の重点目標

緑ヶ丘ハイツ

- (1) 経営分析し、組織機能の評価、運営スタイルを見直す。
- (2) 職員1人ひとりが、組織の活性化と経営に対する意識を持ち、組織機能の評価、運営、コスト等の見直し、改善に努める。
- (3) 人材の確保に最大限の力を注ぐ。
- (4) 業務の充実を図るべく、日々の見直し、分析を実施する事に努める。
- (5) 職員の円滑なコミュニケーション、より良い職場環境への改善等図る。

緑ヶ丘ハイツ診療所

事業方針 《 常勤医師との連携により診療所の安定した運営に努めます 》

今年度の重点目標

- (1) 医療機関と連携し診療に努めます。
- (2) 感染症対策を徹底し予防・2次感染による拡大防止に努めます。

3 予算

収入

[単位：千円]

科 目	予算額
介護保険事業収入	303,176
医療事業収入	12,770
その他の事業収入	162
経常経費寄附金収入	400
受取利息、その他収入	990
施設整備等補助金収入	10,956
退職給付引当資産取崩収入	3,000
拠点区分間繰入金収入	16,200
収入合計 (1)	347,654

【予算積算根拠、主な施設整備等】

- 1 稼働率 90.0%、介護度 3.5 で積算。
- 2 黒松内町より元金償還補助金 10,956 千円
- 3 設備資金借入金元金償還支出 27,372 千円

支出

[単位：千円]

科 目	予算額
人件費支出	204,289
事業費支出	67,772
事務費支出	31,267
支払利息支出	2,128
その他の支出	181
設備資金借入金元金償還支出	27,372
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,063
積立資産支出	4,906
拠点区分間繰入金支出	5,000
支出合計 (2)	343,978
予備費 (3)	0
当期資金収支差額 ① = (1)-(2)-(3)	3,676
前期末支払資金残高②	42,522
当期末支払資金残高①+②	46,198

4 利用者及び職員数

【利用者数】長期定員 75 名（平均数 70 名/月） 短期定員（空床利用）5 名（平均数 2 名/月）

【職員数】正職員 31 名/臨時職員 12 名/パート 6 名

拠点区分**障害者支援施設****後志リハビリセンター**

事業名：生活介護（40名）・施設入所支援（40名）・短期入所（3名）

1 事業方針

平均年齢62歳、平均障害程度区分は5を超え、介護・医療業務の負担も年々増加傾向にあります。利用者の機能低下の予防のため、口腔ケア・嚥下機能の維持について継続して取り組んで参ります。

職員一人ひとりが原点に返り、業務内容を見直し、最新の情報や技術を共有していくことで、習熟レベルの成長を促します。利用者のニーズや課題の把握、適切な支援の提供へと還元できるよう努めます。職員の成長が利用者の満足度、稼働率の向上に繋げ、安定した収入の確保と持続可能な施設運営を目指します。

新型コロナウイルス感染には、これまでの予防対策を継続すると共に、感染リスクがある中であっても、利用者の生活を維持するために現場で働き続ける職員に対する理解と処遇改善について発信に努めていきます。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

- （1）利用者の意思を尊重した個別支援計画策定と生きがいを感じられる活動や口腔ケア・嚥下訓練、機能訓練、栄養管理等の総合的な支援。
- （2）職員個々の理解度を再確認する研修体制の構築。支援に対する最新の技術・情報を共有し、業務レベルの向上に努める。
- （3）利用者の権利擁護・成年後見制度の利用促進・地域との交流や地域貢献事業への積極的な取り組み
- （4）外国人技能実習生の計画的な育成と日常生活のサポート

3 予算

収入

【単位：千円】

科目	予算額
障害福祉サービス事業収入	247,826
経常経費寄附金収入	150
受取利息配当金収入	200
その他の収入	2,321
施設整備等補助金収入	0
積立資産取崩収入	1,310
拠点区分間繰入金収入	0
収入合計 (1)	251,707

支出

【単位：千円】

科目	予算額
人件費	154,161
事業費	43,706
事務費	31,216
その他の支出	500
固定資産取得支出等	3,256
積立資産支出	3,480
拠点区分間繰入金支出	10,000
支出合計 (2)	246,319

【予算積算根拠・主な施設整備等】

収入：利用者月平均41名（定員40名）

稼働率施設入所99%・生活介護101%で積算

処遇改善加算8.6%+特定処遇加算2.1%

処遇ベースアップ加算

施設整備：男女各棟へのエアコン設置、ほか各所修繕

予備費 (3)

2,000

当期資金収支差額

3,488

① = (1) - (2) - (3)

前期末支払資金残高 ②

99,414

当期末支払資金残高 ①+②

102,902

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員41名（平均利用者数41名/月）

【職員数】正職員27名（本部出向含む）/臨時職員・パート職員19名/嘱託1名

5 その他特記事項

防災及び感染症予防対策

拠点区分

認定こども園黒松内保育園

事業名

認定こども園黒松内保育園（教育・保育）

1 事業方針

法人の倫理綱領・定款理念・黒松内保育園基本理念を大切にして事業を推進していきます。黒松内保育園は、平成 21 年に認定子ども園として黒松内町の子どもたちを養護・保育する唯一の施設として再スタートしました。教育保育両方の機能を生かし、一人ひとりの発達に応じた保育計画に則った質の高い保育をこれまで以上に進めると共に保育指針・幼稚園指導要領等を踏まえた、保育課程・保育計画の実践を勧めます。

地域唯一の就学前施設としての役割を十分に果たせるよう関係機関と連携を深め、地域に根ざすよう努めます。また、よりよい環境で保育が進められるよう、環境の整備を行います。今後も定着した社会貢献・地域貢献事業の取り組みに推進します。

職員にとって働く意義を持てる職場となるよう努めます。

2 今年度の重点目標

- (1) 保育指針・幼稚園指導要領・保育要領に則った保育課程のもと、保育実践を進めていく。
- (2) 安心・安全な保育活動を行うため、日々の感染症対策を強化し行う。
- (3) 黒松内町の「もの」「ひと」「しぜん」を有効に活用した保育活動を行う。
- (4) 職員の将来設計と力量向上のための研修を行う。外部講師を招聘し保育の質を高める。職員に必要な研修を取り入れ技術向上を考え人材確保・育成に努める。
- (5) 黒松内町、小学校・法人等の関係機関と連携し、保育・教育・子育て支援に努める（小学校よりアプローチカリキュラム、保育園からスタートカリキュラムの内容を確認しながら進めより連携をはかる）。
- (6) 地域貢献・社会貢献事業の取り組みの視野を広げて進める。
- (7) エアコン等の交換、旧園舎の外壁塗装、屋根トタン部分の錆止め塗布、屋根のコーキングを実施する。
- (8) メンタルヘルスケア・心の健康づくり活動を推進する。
業務改善の意見を募り出来る部分の改善を図る。
- (9) 黒松内町地域子育て支援センター事業開始

3 予算

収入		[単位：千円]
科 目	予算額	
保育事業収入	95,343	
経常経費寄付金収入	30	
受取利息配当金収入	2	
その他の収入	933	
事業活動収入計 (1)	96,308	

支出		[単位：千円]
科 目	予算額	
人件費支出	65,908	
事業費支出	13,925	
事務費支出	9,964	
その他の支出	766	
設備資金借入金元金償還支出	100	
固定資産取得支出	1,505	
退職給付引当資産支出	1,352	
拠点区分間繰入金支出	2,240	
支出合計 (2)	95,760	

【予算積算根拠、主な施設整備等】

1. 全体園児数減少。未満児の人数は前年より増であること、通園送迎加算が入ることにより収入増でのスタート。

未満児24名・3歳児12名・以上児26名

教育10名・保育短時間21名・保育長時間31名

2. 事業計画(7)の修繕・固定資産取得

予備費 (3)	
当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	548

前期末支払資金残高②	30,777
当期末支払資金残高①+②	31,325

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員 65 名（教育 15 名、保育 50 名）

【職員数】正職員 7 名／臨時職員 1 名／パート 16 名／嘱託医 1 名

5 その他特記事項

・給食栄養士については、湯の里黒松内 栄養士に委託する。

拠点区分 介護老人保健施設 湯の里・黒松内

サービス区分事業所

- (1)介護老人保健施設 介護老人保健施設 湯の里・黒松内
(無料又は定額介護保健施設利用事業、受託事業、短期入所療養介護事業含む)
- (2)ユニット型介護老人保健施設 ユニット型介護老人保健施設湯の里・黒松内(短期入所療養介護事業含む)
- (3)通所リハビリテーション 湯の里・黒松内通所リハビリテーション
- (4)訪問リハビリテーション事業 湯の里・黒松内訪問リハビリテーション

1. 基本方針

介護老人保健施設湯の里・黒松内は、老健施設の使命というべき「在宅復帰施設」として位置づけられております。利用者一人ひとりが心豊かで快適な生活ができるよう、利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援して参ります。老健施設としての『多職種協働、多様なニーズに多機能なサービスで応える』姿勢で事業展開を適正に保てるよう努力して参ります。

また、科学的介護(LIFE)の作成、ICT機器の活用による業務の効率化を図って参ります。

地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、市町村や保健・医療機関、その他の関係諸機関との密接な連携を図ります。さらに利用者及びご家族等からのいかなる相談にも親切・丁寧に対応し、皆様に信頼されるよう努力致します。

拠点内では、短期入所事業、通所事業、訪問事業など在宅サービスを支える事業があり、地域からの一層の信用と信頼を受け黒松内町をはじめとする近隣町村の方々のご支援を得てしっかりとしたサービスの提供に努めて参ります。

2. 今年度の重点目標

- 利用者一人ひとりが、心豊かで快適な生活ができよう努めてまいります。
(信頼関係の構築、生活歴・習慣に配慮した支援、しっかりとしたりハビリテーションの提供)
- ご家族・利用者に安心・安全なサービスを提供できるように努めてまいります。
(事故リスクの軽減、しっかりとした感染症対策、様々な災害対策)
- 施設全体が明るく利用者が職員に気兼ねなく声を掛けられるように努めてまいります。
(利用者は人生の先輩であるという意識の上で信頼関係と基本的な接遇マナーを常に頭に入れて接する)
- 職員間の良好な関係の構築と心身の健康づくりに努めてまいります。
(職員間の良好な信頼関係、何事も気兼ねなく言える職場風土、健康診断)
- 職員一人ひとりが経営に対する意識を持ち組織機能の評価、運営、コストに対する意識を高めます。
(業務改善、ICT導入による業務の効率化、スキルアップに必要な教育、研修制度)
- 法人内(養護・特養・老健)の高齢者施設の一体感のある連携に努めてまいります。
(個々の利用者に適した施設利用、法人高齢者部門の関係の強化)
- 施設機能の提供と地域貢献に努めてまいります。
(実習生・職場体験の積極的な受け入れ、福祉授業での訪問、町内行事などへの参加)

3. 予算

収 入		支 出	
【単位:千円】		【単位:千円】	
科 目	予算額	科 目	予算額
介護保険事業収入	409,149	人件費支出	253,200
経常経費寄付金収入	300	事業費支出	73,950
受取利息配当金	1	事務費支出	37,625
その他の収入	1,650	利用者負担軽減額	1,900
施設整備等補助金収入	0	支払利息	400
設備資金借入金収入	63,000	その他の支出	24,149
積立資産取崩収入	400	設備資金借入金元金償還支出	45,325
拠点区分間繰入金収入	2,240	固定資産取得支出	26,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	4,592
		退職給与引当資産支出	5,800
		拠点区分間繰入金支出	2,000
収入合計(A)	476,740	支出合計(B)	474,941

【内訳】(算定根拠,主な施設整備等)

1. 収入は年間利用者平均予定人員長期77名、短期2名、通所16名で算出。入所稼働率98.7%、介護度2.7

2. 主な施設整備

①本館外壁塗装工事、②キュービクル、

③新館ボイラー更新 ※別紙参照

(①・②は黒松内町工事:施設負担25%)

4. リース契約: マットレスリース: 年額リース料71万円

5. 長期借入返済

北海道信金: 福祉医療機構借入金・新館ボイラー入替資金調達6,300万円

福祉医療機構(従来分6月)287万円 医療機構借換返済分3,700万円 LED工事返済73万円 北海道信金(新規返済分)473万円(9カ月分)

予備費(C)	0
当期資金収支差額 ①=(A)-(B)-(C)	1,799

前期末支払資金残高②	22,527
当期末支払資金残高①+②	24,326

4. 利用者及び職員数

【利用者定員】

長期入所 76名
短期入所 4名
通所リハビリ 20名

【年間利用者平均予定人員】

77 名
2 名
16 名

【職員数 2022年4月現在】 正職員(臨時含む)51名 パート職員 10名 計 61名

拠点区分 俱知安地区 就労系事業等拠点

事業名 羊蹄セルプ、羊蹄、陽だまり、つくしホーム、和ーなごみー

1 事業方針 夢ありがとう【夢の実現を一緒に見ることが出来たのか検証を！】

社会福祉法人黒松内つくし園俱知安地区は、「雇用する側と雇用される側の集まり」ではなく、「福祉事業を通じ、社会貢献の志を同じくするもの同士が役割を分担して、世の中や地域、利用者に求められている支援や介護の提供を行うと共に、商品開発経て新たな商品を創製していく人」の集合体である。したがって、俱知安地区職員は、利用者に対し、質の高い支援及び介護のもと、利用者個人の自立・安心した生活の実現を行い、地域住民より選ばれる事業を目指さなければならない。

2 今年度の重点目標

- (1) 組織強化：円滑かつ機能的、安定した組織運営と安定した経営を目指すため、地区のスマート化を行う。（羊蹄セルプの定員の見直し・つくしホームの定員削減・陽だまり生産事業の見直し・ヘルパーの指定先変更及び流動的な人員配置）
- (2) 人材育成：各事業所内研修及び地区分野別研修会などを開催し重点的に育成を行う。分野を超えた研修会の実施のほか、事業所間での交換研修及び、研修講師の派遣などを行い、各職員のベースアップ及び、次期管理者候補職員の発見と育成を行う。
- (3) 地域貢献事業実施強化：情報開示及び地域貢献事業に向けた取り組みを現在の社会情勢下において、最大限の活動を行う一方で、SNSなど使用できるツールを利用した新たな取り組みを積極的に行うことで、より地域に根付いた事業所として、地域住民から信頼される事業所を目指す。

3 予算

収入

科目	予算額
就労支援事業収入	25,498
障害福祉サービス等事業収入	100,748
その他の事業収入	288
借入利息補助収入	0
受取利息配当金収入	0
その他収入	186
施設整備等補助金収入	0
拠点区分間繰入金収入	21,000
収入計(1)	147,720

【予算積算根拠、主な施設整備等】

就労支援事業収入は売上目標値を計上
 羊蹄セルプ：納豆工場醗酵室制御盤更新
 トップシール機部品交換
 浄化槽マンホール整備

支出

科目	予算額
人件費支出	74,287
事業費支出	24,516
事務費支出	16,622
就労支援事業支出	25,498
支払利息支出	122
その他の支出	84
設備資金借入金元金償還支出	2,820
ファイナンス債務返済	1,360
積立資産支出	1,893
拠点区分間長期借入金返済	
拠点区分間繰入金支出	
支出合計(2)	147,202
予備費(3)	0
当期資金収支差額 ①=(1)-(2)-(3)	518

前期末支払資金残高②	15,004
当期末支払資金残高①+②	15,522

4 利用者及び職員数

【利用者数】 88名（就労支援系事業所の登録利用者数）

【職員数】 正職員 8名／臨時職員 8名／パート 12名

5 その他特記事項

羊蹄セルプ：業務用空気清浄機リース入替

拠点区分

倶知安地区 在宅系事業等拠点

事業名 グループホーム絆・縁、つくしんぼ

1 事業方針 夢ありがとう【夢の実現を一緒に見ることが出来たのか検証を！】

社会福祉法人黒松内つくし園倶知安地区は、「雇用する側と雇用される側の集まり」ではなく、「福祉事業を通じ、社会貢献の志を同じくするもの同士が役割を分担して、世の中や地域、利用者に求められている支援や介護の提供を行うと共に、商品開発経て新たな商品を創製していく人」の集合体である。したがって、倶知安地区職員は、利用者に対し、質の高い支援及び介護のもと、利用者個人の自立・安心した生活の実現を行い、地域住民より選ばれる事業をめざさなければならない。

2 今年度の重点目標

- (1) 組織強化：円滑かつ機能的、安定した組織運営と安定した経営を目指すため、地区のスマート化を行う。（ヘルパーの指定先変更及び流動的な人員配置・グループホームつくしんぼの事業内容の見直し）
- (2) 人材育成：各管理者中心の事業運営を目指すため管理者の育成を行う。各職員のベースアップを図るため、各事業所内研修及び地区分野別研修会などを開催し重点的に育成を行う。分野を超えた研修会を実施し、次期管理者候補職員の発見と育成を行う。
- (3) 地域貢献事業実施強化：情報開示及び地域貢献事業に向けた取り組みを現在の社会情勢下において、最大限の活動を行う一方で、SNSなど使用できるツールを利用した新たな取り組みを積極的に行うことで、より地域に根付いた事業所として、地域住民から信頼される事業所を目指す。

3 予算

収入

[単位：千円]

科目	予算額
介護事業収入	84,767
障害福祉サービス等事業収入	2,640
その他の事業サービス	0
借入利息補助収入	0
受取利息配当金収入	0
その他の収入	480
施設整備等補助金収入	0
拠点区分間繰入金収入	0
収入計 (1)	87,887

【予算積算根拠、主な施設整備

支出

[単位：千円]

科目	予算額
人件費支出	69,136
事業費支出	15,438
事務費支出	8,619
その他の支出	408
借入金元金償還支出	180
積立資産支出	1,472
拠点区分間繰入金支出	48
支出合計 (2)	95,301
予備費 (3)	0
当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	△ 7,414

前期末支払資金残高②	23,534
当期末支払資金残高①+②	16,120

4 利用者及び職員数

【利用者数】48名（在宅支援系事業所の登録利用者数）

【職員数】正職員 8名／臨時職員 5名／パート 10名

5 その他特記事項

特になし

拠点区分 京極地区 養護老人ホーム慶和園

事業名 : 養護老人ホーム慶和園 ・ 短期入所生活介護事業

1 事業方針

昨年度進めた、養護特養一体的運営やミニ会議の開催、外国人就労者との交流事業、基礎介護研修や各委員会テーマ別研修等の取組について、新年度はさらに推進、深化させることでご利用者とのかかわりをより深めていきます。

組織強化においては、職員一人ひとりがステップアップ（進化）していくが必要不可欠であることを踏まえ、各職員が自律型職員を目指します。

2022 年度 運営テーマ ‘ご利用者のために深化宣言！’

～ 私たちも進化しよう！！ ～

2 今年度の重点目標

- (1) 京極町における慶和園の役割を理解し、「在宅生活が難しくなった方の受け入れ」の取組を進化させます。
- (2) ご利用者、ご家族との関わりを深化。信頼関係を深めることで利用満足度を高めます。
- (3) 昨年度起きた「不適切なケア」を踏まえ、各職員が自身のケアを振り返る機会を多く設けることを通じ、組織強化と自律的職員の育成を進めます。

3 予算

収入

[単位：千円]

科 目	予算額
老人福祉事業収入	85,514
介護保険収入	4,929
経常経費寄附金収入	50
受取利息配当金収入	1
その他の収入	1,054
積立資産取崩収入	139
拠点区分間繰入金収入	2,000
事業活動収入計 (1)	93,687

【予算積算根拠、主な施設整備等】

・ 養護は措置費単価Aランク(入所34人、一般生活費98%で積算)

・ 短期入所要介護度1 稼働率50%で積算

措置費収入は前年度最終単価で積算

支出

[単位：千円]

科 目	予算額
人件費支出	46,051
事業費支出	27,698
事務費支出	24,461
その他の支出	3
設備資金借入金元金償還支出	380
固定資産支出	220
積立資産支出	996
拠点区分間繰入金支出	410
支出合計 (2)	100,219
予備費 (3)	0
当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	△ 6,532
前期末支払資金残高②	12,843
当期末支払資金残高①+②	6,311

4 利用者及び職員数

【利用者数】 養 護 定員 35 名 短期入所 3 名 (平均利用 2 名/月)

【職員数】 正職員 5 名 (兼務職員 4 名) / 臨時職員 4 名 / パート 2 名 / 嘱託 1 名

5 その他特記事項

特になし

拠点区分 京極地区 ユニットケア慶和園

事業名 特別養護老人ホーム ユニットケア慶和園
短期入所生活介護事業（空床利用）
障害短期入所生活介護事業（空床利用）

1 事業方針

昨年度進めた、ペアユニット運営やミニ会議の開催、外国人就労者との交流事業、基礎介護研修や各委員会テーマ別研修等の取組について新年度はさらに推進、深化させることでご利用者とのかかわりをより深めていきます。

組織強化においては、職員一人ひとりがステップアップ（進化）していくが必要不可欠であることを踏まえ、各職員が自律型職員を目指します。

2022 年度 運営テーマ ‘ご利用者のために深化宣言！’

～ 私たちも進化しよう！！ ～

2 今年度の重点目標

- (1) 京極町における役割を理解し、「看取りケア」の取組を進化させます。
- (2) ご利用者、ご家族との関わりを深化。信頼関係を深めることで利用満足度を高めます。
- (3) 昨年度起きた「不適切なケア」を踏まえ、各職員が自身のケアを振り返る機会を多く設けるを通じ、組織強化と自律的職員の育成を進めます。

3 予算

収入

科 目	予算額
介護保険事業収入	270,287
経常経費寄附金収入	500
その他の収入	32
積立資産取崩収入	0
拠点区分間繰入金収入	1,410
事業活動収入計 (1)	272,229

【予算積算根拠、主な施設整備等】

・平均介護度 3 ・稼働率 96 %で算出

支出

科 目	予算額
人件費	164,828
事業費	50,888
事務費	40,909
利用者負担軽減額・支払利息・その他の支出	3,090
設備資金借入金元金償還支出	4,588
ファイナンス・リース債務返済支出	1,074
積立資産支出	4,216
拠点区分間繰入金支出	2,000
支出合計 (2)	271,593
予備費 (3)	0
当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	636
前期末支払資金残高②	78,037
当期末支払資金残高①+②	78,673

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員 60 名（平均利用者数 58 名／月）

【職員数】正職員（内兼務職員 1 名）20 名／臨時職員 18 名（内兼務職員 1 名）
パート 17 名（内兼務職員 4 名）・機能訓練

5 その他の特記事項

特になし

拠点区分 泊地区 泊村養護老人ホーム むつみ荘

事業名 : 泊村養護老人ホームむつみ荘 ・短期入所生活介護事業

1 事業方針

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、昨年度に引き続き人員配置の適正化や感染症対策の充実強化を実施するとともに、利用者様の状態に即した適時・的確な支援計画を作成し、良質なサービスの提供並びに利用者様との信頼関係の醸成に努めることとします。2022 年度はこれら取り組みに加え、利用者様個々の尊厳と暮らしの継続を守るため、職員一人一人が「法人」の理念について、より一層理解が深まるよう施設内研修の充実を進めるとともに、「接遇マナー」の徹底等に取り組み、「選ばれる施設づくり」を推進します。また、職員の職場定着の推進の観点から、「ハラスメント対策」の強化に取り組み、働きやすい職場環境づくりを目指します。

2 今年度の重点目標（テーマ：利用者様の笑顔・喜び・生きがいのために）

（1）良質なサービスの提供

法人理念の理解・接遇マナーの徹底

（2）安全で安心な施設づくり

新型コロナウイルス感染症など感染症予防対策の徹底及び施設内での派生のリスクが懸念される疾病等（褥瘡・誤嚥性肺炎・尿路感染症・骨折等）予防対策の徹底

（3）安定的な運営体制づくり

人員配置の適正化・人材育成の強化・ユニット運営体制の強化

（4）働きやすく開かれた職場環境づくり

ハラスメント対策の充実強化・地域との連携強化

3 予算

収入

[単位：千円]

科 目	予算額
老人福祉事業収入	81,890
その他の事業収入	21,134
経常経費寄附金収入	10
受取利息配当金収入	1
その他の収入	1,560
積立資産取崩収入	300
事業活動収入計 (1)	104,895

【予算積算根拠、主な施設整備等】

- ・民改費Cランク積算（事業費97.0%）
- ・生活管理指導短期宿泊事業 8床入居（空室2床）

支出

[単位：千円]

科 目	予算額
人件費支出	57,568
事業費支出	25,844
事務費支出	18,731
その他の支出	48
設備資金借入金元金償還支出	210
積立資産支出	1,440
支出合計 (2)	103,841
予備費 (3)	0
当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	1,054

前期末支払資金残高②	15,421
当期末支払資金残高①+②	16,475

4 利用者及び職員数

【利用者数】養 護 定員 30 名 短期入所 10 名（平均利用 36.17 名/月）

【職員数】正職員 11 名（兼務職員 3 名）/臨時職員 3 名/パート 1 名

5 その他特記事項

特になし

拠点区分 泊地区 泊村特別養護老人ホーム むつみ荘

事業名 泊村特別養護老人ホーム むつみ荘
短期入所生活介護事業（空床利用）

1 事業方針

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、昨年度に引き続き人員配置の適正化や感染症対策の充実強化を実施するとともに、利用者様の状態に即した適時・的確なケアプランを作成し、良質なサービスの提供並びに利用者様との信頼関係の醸成に努めることとします。2022 年度はこれら取り組みに加え、利用者様個々の尊厳と暮らしの継続を守るため、職員一人一人が「法人」や「ユニットケア」の理念について、より一層理解が深まるよう施設内研修の充実を進めるとともに、「接遇マナー」の徹底、LIFE を効果的に活用した「科学的に自立支援の効果が裏付けされたサービス」の提供を実現し、「選ばれる施設づくり」を推進します。また、職員の職場定着の推進の観点から、「ハラスメント対策」の強化に取り組み、働きやすい職場環境づくりを目指します。

2 今年度の重点目標（テーマ：利用者様の笑顔・喜び・生きがいのために）

（1）良質なサービスの提供

法人理念及びユニットケアの理解・接遇マナーの徹底・LIFE（フィードバックデータ）の有効活用

（2）安全で安心な施設づくり

新型コロナウイルス感染症など感染症予防対策の徹底及び施設内での派生のリスクが懸念される疾病等（褥瘡・誤嚥性肺炎・尿路感染症・骨折等）予防対策の徹底

（3）安定的な運営体制づくり

人員配置の適正化・人材育成の強化・ペアユニット運営体制の強化

（4）働きやすく開かれた職場環境づくり

ハラスメント対策の充実強化・地域との連携強化

3 予算

収入

科目	予算額
介護保険事業収入	273,924
経常経費寄付金収入	20
受取利息配当金収入	1
その他の収入	3,680
積立資産取崩収入	2,000
拠点区分間繰入金収入	0
事業活動収入計（1）	279,625

【予算積算根拠、主な施設整備等】

- ・平均介護度3.7 稼働率93%で算出
- ・機能訓練指導員、看護師各1名人件費計上

支出

科目	予算額
人件費	179,990
事業費	46,962
事務費	40,776
利用者負担軽減額	3,600
その他の支出	180
設備資金借入金元金償還支出	410
積立資産支出	4,200
拠点区分間繰入金支出	1,000
支出合計（2）	277,118

予備費（3）

当期資金収支差額

① = (1) - (2) - (3)

予備費（3）	0
当期資金収支差額	2,507

前期末支払資金残高②	42,609
当期末支払資金残高①+②	45,116

4 利用者及び職員数

【利用者】定員 60 名（平均利用者数 55.49 名／月）

【職員】正職員 29 名（内兼務職員 3 名）／臨時職員 11 名／パート 7 名

5 その他の特記事項

特になし